

第1章 本戦略の位置づけ

1 本戦略策定の趣旨

本県は、全国と比べて生産額、就業人口とも第2次産業の割合が高く、医薬品などの化学やアルミなどの金属、機械、電子部品を中心に日本海側屈指の工業集積を形成し発展してきており、ものづくり産業が本県経済の基軸となっている。

これまで、2019（平成31）年3月に策定した「新・富山県ものづくり産業未来戦略」（以下、「旧戦略」という。）に基づき、県立試験研究機関の充実した設備、産学官連携・企業間連携によるコンソーシアムなどの推進基盤が確立されている強みを活かし、産学官の連携・協力のもと医薬・バイオ、医薬工連携、航空機、ヘルスケア、次世代自動車、ロボット、環境・エネルギーといった様々な成長産業の参入支援等に取り組んできたところである。

今年度が計画期間の最終年度となるが、ものづくり産業が今後更に飛躍・発展していくためには、国際情勢の急激な流動化や生産年齢人口の減少など、ものづくり産業を取り巻く環境の変化に的確に対応していかなければならない。

また、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー（循環経済）の構築といった、新たな環境・社会価値の創出が求められる中、本県のものづくり企業が、こうした新たな価値の創出に向けて積極的な投資を行い、その効果を県全体に波及させながら、持続的な成長を実現することが、本県の経済発展の原動力となると考えられる。

このため、国のGX投資に関する施策動向や、サーキュラーエコノミー関連市場の成長も見据え、これまでの戦略の取組みを見直すものである。

なお、この戦略の推進は県がSDGsの推進において目指す「環日本海地域をリードする『環境・エネルギー先端県とやま』」の実現にも寄与するものである。

2 性格と役割

本戦略は、県内のものづくり産業の更なる発展に向けて競争力強化を効果的に進めるための短中期的な本県産業振興施策へ反映させる指針として位置づけ、産学官金の連携と協力のもとに進めていくものとする。

3 計画期間

2024（令和6）年度から2030（令和12）年度まで

※ただし、ものづくり技術の動向や環境の変化を踏まえ柔軟に見直しを検討

4 計画の実行性の確保

計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルによるマネジメントシステムを導入し、政策目標の達成状況の継続的な検証や経済社会情勢の変化や動向等により、必要に応じた施策の見直しを図り計画の実行性を確保する。

【参考】旧戦略における主な取組みについて

1 とやま成長産業創造プロジェクトの推進

県内企業の独自技術、大学、県立試験研究機関の技術シーズや充実した設備、医薬・バイオ分野やアルミ分野のコンソーシアム等の推進基盤が確立されている強みを活かし、成長産業分野での新たな技術・製品開発を目指す。

(1) 医薬・バイオ

- 医薬品の研究開発、専門人材の育成
 - ・「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム
- 製薬企業の開発・製造支援
 - ・製剤開発支援センター
医薬品メーカーによる新しい製品の研究開発を促進
 - ・創業研究開発センター(H30.5月開所)
バイオ医薬品など付加価値の高い医薬品の研究開発を積極的に支援 (25機器)

◇日本を代表する医薬品生産拠点
◇新薬・ジェネリック医薬品からOTC医薬品、配置薬、原薬まで多種多様な製薬企業が集積 (製造所数100超)

(2) 医薬工連携

- 医薬工連携研究会
 - ・勉強会等を実施(事例紹介や医療現場関係者からのニーズ発掘)
 - ・県内企業の高い技術や製品を紹介・マッチングする「とやま医薬工連携企業データブック」を出版
 - ・共同で医療機器展示会「HOSPEX Japan」等に出席
- 富山大学メディカル・デザインプロジェクトとの連携
 - ・医療現場の見学会・座談会(富山大学附属病院など)

◇医薬工連携研究会員数 45機関 (H30) ⇒ 84機関(R5)
◇新たに医療機器等の新規参入を目指す企業に対し、研究開発や販路拡大のPR活動等を支援

(3) 次世代自動車

●自動車・蓄電池研究会 (R3～)

- ①技術セミナー 1,035名(計22回) EV・FCV・HVの最新技術セミナー
- ②先進地視察 92名(計3回) SUBARU矢島工場(群馬)など
- ③商談会開催 とやま次世代自動車新技術・新工法展示商談会(R1)
- ④研究開発支援 蓄電池用電極薄帯の製造技術開発(R4)など

●産学官連携の研究開発

- ・高強度と高靱性を両立したプラスチック自動車部品向けCNFの開発 など

◇自動車・蓄電池研究会員数 132機関(H30、とやま次世代自動車研究会)⇒165機関(R5)
 多くの県内企業が自動車関連の部品を製造し、さらなる技術革新や製品開発が期待できる

(4) 航空機産業

●航空機産業認証取得支援事業

- ・ライセンスJISQ9100、Nadcapの取得補助(R4:(株)ユニゾーン)



●航空機産業国際的販路開拓事業

- ・航空機部品共同受注グループ「ソラトヤマ」による出展
 (第三回エアロマート名古屋2019
 シンガポールエアショー2020、第四回エアロマート名古屋2021)

◇(株)タナカエンジニアリングが次期基幹ロケット「H3ロケット」用エンジン部品と機体バルブ部品を受注
 ◇富山県航空機産業交流会会員数：112機関(R5)

(5) ロボット

●とやまロボティクス研究会

- ・技術セミナーやロボット利活用推進WGでの研修を通じた人材育成
- ・IoTを活用したスマート工場などの視察(R1:三菱電機(株)など)
- ・国際展示会への共同出展(2019,2021国際ロボット展)

●センサ技術を活かした製品

- ・世界初の無線足裏荷重分布センサの製品化に成功(R2:(株)オーギャ)

◇とやまロボティクス研究会：145機関(R5)
 ◇ロボット利活用推進WGによるシステムインテグレーターの育成：191人(R1～R5)

(6) 環境・エネルギー

●燃料電池車両導入補助事業

- ①FCV 採択数 19件(R1～R5)
- ②FCフォークリフト 採択数 1件(R5～)

●水素・燃料アンモニア研究会、次世代再生可能エネルギー研究会(R3～)

- ①技術セミナー 1,066名/計25回
- ②先進地視察 175名(7回) 水素製造施設FH2R(福島県)など

●北陸初の商用水素ステーションを開設(R2)

●研究開発支援 廃棄Mgを活用した水素製造(株)北酸)など



◇水素・燃料アンモニア研究会員数:78機関(R5)
 ◇次世代再生可能エネルギー研究会:61機関(R5)

(7) ヘルスケア

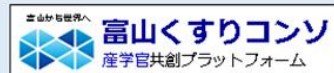
- 県産業技術研究開発センター生活工学研究所に「ヘルスケア製品開発棟」を開設 (R1)
 - ・ 生活環境シミュレータ・女性型サーマルマネキン
 - ・ 快適感覚計測システム など
- ヘルスケアコンソーシアムの設立 (R1)
 - ・ とやまのヘルスケアのブランド化を図る

- ◇ ヘルスケア製品開発棟を活用した機関 (企業・大学等) の支援実績 計72機関(R1~R5)
- ◇ 人の感覚、生理の測定・評価により、医療用品(マスク)などの製品化を支援 (株)松井機業場、エステアール(株)

2 分野横断的なイノベーション手法による新たな付加価値や新事業の創出

(1) オープンイノベーションの推進

くすりのシリコンバレーTOYAMA創造コンソーシアム



- 早期事業化に向けた医薬品の研究開発の推進
 - 富山大学、富山県立大学、県薬事総合研究開発センターにおいて、専門家の支援のもと、研究テーマの早期事業化に向け研究開発を推進
 - R5年度から新たに、富山大臨床研究管理センターにおける臨床試験のDX化や、県立大DX教育研究センターと連携した医薬品生産の技術革新に取り組む
- 「くすりの富山」を支える専門人材の育成・確保
 - ・ 全国の学生を対象にサマースクールを開催し、医薬品の品質管理・保証、製剤開発、先輩社員とのweb交流など「くすりの富山」ならではのカリキュラムを提供 (R4受講者数：92名)
 - ・ バイオ医薬品専門人材育成研修を実施 (R4受講者数 大学院生向け：6名、社会人向け：座学34名、実習10名)
- ホームページやSNSを活用した情報発信

- ◇ 「競争力のある製薬 (造る)」と「富山発の創薬 (創る)」の取組みを強化


とやまアルミコンソーシアム

- アルミのリサイクル (グリーン化) に向けた取組み
 - ① アルミのグリーン化技術に関する研究開発 (5テーマ)
 - ② 循環型アルミ産業網強化に向けた研究会 (12回)
 - ③ DXアプリケーションの開発 (県立大学)
- アルミの特性を活かした研究開発 (4テーマ)
- アルミサンドボックス事業
 - 企業が有する課題の把握し、新たな事業を創出 (11社)
- アルミ人材育成事業
 - ① 県内学生 インターンシップ (30名 富山大, 県立大, 富山高専)
 - ② 県外学生 インターンシップ (25名 東京大, 東工大, 日本大 他)
 - ③ 社会人 セミナー (講師：国際的な研究者)

- ◇ リサイクルアルミの研究開発や、県内の循環型アルミ産業網の強化などの取組みを実施し、県内アルミ産業の振興に貢献

とやまヘルスケアコンソーシアム

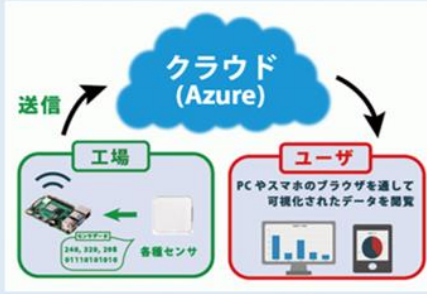
- ヘルスケア商品化サンドボックス
 - ① シーズ志向型のヘルスケア商品の開発（4テーマ）
 - ② 現場ニーズに基づく製品の開発（5テーマ）
 - ③ 最新トレンドを製品テーマとした開発（1テーマ、フェムテック）
- ヘルスケア産業研究会の運営
 - ① コーディネート活動による製品化へのサポート
 - ② セミナー・勉強会の開催（計24回）
 - ③ 課題解決型ワークショップの開催（計4回）
 - ④ 介護施設等の現場見学会（R4:特別養護老人ホーム）
 - ⑤ ヘルスケア製品展示会への出展（R4:6社、CareShowJapan2023）



◇とやまヘルスケアコンソーシアム会員数 35機関（H30） ⇒ 80機関（R5）
 ◇新たなヘルスケア製品開発を目指す企業間と産学官のコーディネート活動実績：延べ645機関（R1～R5）

(2) コネクティッド富山の推進

- 県内企業のデジタル化支援
 - ・富山県IoT推進コンソーシアムを通じたIoTプラットフォームの普及や、DX未着手企業への普及啓発・経営相談など、企業のデジタル化の段階に応じた、きめ細かな支援を実施。
- 産業技術研究開発センターにおけるIoT活用支援
 - ・遠隔地からのデータ収集・解析に関するノウハウを蓄積し、県内企業におけるエンジニアリングチェーンのIoT化を促進。
 - ・CAEやAIなど最先端のデジタルものづくり技術の体験会の実施。



◇県IoT推進コンソーシアム会員企業のIoT導入率 34.5%（R1） ⇒ 44%（R5）
 ◇県内のローカル5G導入企業（製造業）の累計件数 2件（R4実績）

(3) デザインによる高付加価値化

- 未来研究会の開催

各分野から第一線の講師を招き、技術革新・未来の生活像を共有
 <分野例> 素材、医薬、移動、ヘルスケアなど
 (計13回)
- プロジェクト会議

自社技術を多角的に把握
 ⇒異業種連携新プロジェクト創出へ。
 プロジェクト例：素材（アルミ押出技術の活用）、移動（パーソナルモビリティ）、ヘルスケア（歩行器の開発）など



(4) とやまイノベーション推進会議の設置

●「とやまイノベーション推進会議」を設置(R1.7.24)

- ①県や県新世紀産業機構によるコンソーシアム、各研究会等の取組みの情報共有
- ②コーディネート機能の充実ため、産学官連携を担うコーディネートの在り方を検討
- ③新しいプロジェクトを生み出す研究分野を検討するため、大学や試験研究機関からの技術シーズの提供

・アルミ、ヘルスケアコンソーシアム推進委員会の開催

⇒本県の中核的産業であるアルミ産業の振興やヘルスケア産業創出に向けて推進する事業の取組みの現状や施策の方向性を検討

- ・アルミリサイクル（グリーン化）の研究開発、とやまヘルスケア商品化に向けた開発支援
- ・事業化・製品化を推進するための販路開拓支援
- ・専門人材の育成・確保のための技術セミナーや県内外学生インターンシップなどの人材育成



3 ものづくり人材の育成・確保

(1) I o T等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保

●IoT等のデジタル技術を活用できるIT人材の育成

- ・(公財)富山県新世紀産業機構にIoT等推進コーディネーターを配置し、中小企業等に対してIoT等に関する総合的な相談対応や出前講座、指導者の育成及び派遣を実施

●先端技術を活用できるものづくり人材の育成

- ・県内企業の研究人材を対象に大学や県立試験研究機関への人材交流を実施。最先端技術を活用した課題解決型の研修を行い、知識や技術を現場で活用できる人材の育成を実施。



(2) リカレント教育、職業能力開発の充実

リカレント教育

●富山県高等教育機関リカレント教育推進事業費補助金(H31～)

- ・県内高等教育機関が実施する社会人向けのリカレント教育講座に対し補助を実施 (R1～R4：8講座に対して補助)

企業ニーズに対応した職業訓練の推進

●県技術専門学院等における在職者訓練の推進

- ・オーダーメイド型を含む企業ニーズに対応した人材育成の支援

●技術専門学院のリニューアル (R5～)

- ・県内企業の人材ニーズを踏まえた訓練科、カリキュラムの充実、実習棟・機械器具の整備

●リスクリング支援 (R5.1～)

- ・国の人材開発支援助成金と歩調を合わせ、県内企業が生産性向上等を目的として行うリスクリングの取組みに対し、経費の一部を補助



(3) 移住・Uターン、Tターンの促進

県外学生のUターン就職支援

- **Uターン就職促進イベント**
「県内企業就活バスツアー」、「県内IT業界研究セミナー」等を開催
- **理工系・薬学部生対象奨学金返還助成**
県内企業に就職した場合、企業と県で奨学金返還を助成
- **「帰ってこられ！Uターン就職応援助成制度」**
Uターン就職活動に係る交通費を支援（補助率1/2 年度内2回まで）



県内学生のTターン就職支援

- **Tターン推進強化事業**
県内4大学と連携し、「Tターンカフェ」（学生と県内企業若手社員との交流会）の実施
- **県内企業のインターンシップ導入支援**
県内企業を対象としたインターンシップ導入セミナーを実施

県内ものづくり企業の魅力発信

- **県内企業の情報提供の強化**
企業情報サイトのリニューアル、新たな情報発信機能の構築（LINEによるプッシュ型の発信）

(4) 女性・高齢者など多様な人材の活躍推進

女性の就職支援

- **就活女子応援カフェ**
女子大生と県内企業の女性社員との座談会
- **煌めく女性リーダー塾の実施** H25～R4卒塾生：529名
- **「とやま女性活躍企業」認定制度の創設** R4：32社
- **女性のキャリアデザイン応援事業**
ライフイベントに応じた切れ目のないキャリア形成支援
- **女性就業支援センター**
女性の就業に関する相談をワンストップで受け付けるとともに、女性向けセミナーの開催や仕事体験等の機会を提供



高齢者の就職支援

- **とやまシニア専門人材バンクの運営**
専門的知識・技術等を有する高齢者と県内企業とのマッチング支援



障害者の就労支援

- **障害者の一般就労トータルサポート事業**
障害者の採用準備から職場定着への一貫した個別支援、障害者・家族等と企業との交流会

(5) グローバル人材の活躍

高度外国人材活用の普及促進

- **アジア高度人材受入事業**
・アジア諸国の理系大学生と県内企業とのマッチング及び入国前の日本語教育等を実施
- **外国人材採用・就職サポートデスク事業**
・「とやま外国人材活用支援デスク」を設置し、外国人材受入れの啓発セミナー、相談対応・マッチング支援を実施

外国人技能実習生の活用への支援

- **外国人材日本語習得サポート事業**
・企業が実施する技能実習生への日本語研修に対し補助

4 北陸新幹線等を活かした成長産業の集積を促す企業誘致、県内企業の販路開拓

(1) 成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致

- 大都市圏における**企業立地セミナー**の開催など
トップセールスによる企業誘致の推進
- 地方拠点強化税制に基づく整備計画認定**
件数：35件（R6.2月末現在）
- 地域未来投資促進法に基づく事業計画承認**
件数：125件（R6.2月末現在）
- 企業立地助成制度**における大幅な要件緩和や
新たな助成制度の創設による
工場の立地や本社機能等の移転促進



(2) 販路開拓、ものづくり技術の発信

- 富山県ものづくり総合見本市**の開催
H22～R5にかけて7回開催
- 富山・長野連携推進東京圏商談会**の開催
- 販路開拓マネージャー**を配置し、**商談会等のマッチング機会**を提供

5 アジア等の海外展開への支援

- 令和4年10月、ベトナム・ホーチミンに「ホーチミンビジネスサポートデスク」、
令和5年7月、ベトナム・ハノイに「富山デスク」を設置
- 令和4年12月18～23日の期間、ベトナムに富山県ベトナム経済訪問団を派遣
- とやま中小企業チャレンジファンド事業により、国際見本市への県内企業出展を支援
- 伏木富山港の活用につながるインセンティブ制度を設け、ポートセールス活動を推進
- 中国北京において県産品のPR展示会を開催するとともに、中国向け越境ECサイトに特設店舗
「とやま館」を設置
- 県内事業者の非対面・遠隔でのオンライン海外販路開拓を促進するため、
補助金の交付及び専門家によるアドバイス等の伴走支援を実施
- アジア地域等からバイヤーを招聘し、海外販路開拓商談会を開催
- アジア諸国の理系大学生と県内企業とのマッチング及び入国前の日本語教育等を実施

6 中小・小規模企業に対する総合的支援

(1) IoT等の導入支援

- 富山県IoT推進コンソーシアムの全体会において、
IoT等の最新動向を学ぶ講演会及び意見交換を行う交流会を開催
- 企業のデジタル化段階に応じた各種研修を開催し、
令和4年度は延べ81名が参加
- 新世紀産業機構にIoT・AIに関する相談窓口を設置し、
相談対応、出前講座、企業への指導者派遣等県内企業の
デジタル技術の導入を支援
- IoT導入モデル補助金(2件採択)、IoT・AIトライアル事業費補助金(4件採択)、
IoT・AIステップアップ補助金(37件採択)等、IoT・AIツール導入への支援



(2) 技術等のある企業の事業承継支援

- 令和3年4月に「事業引継ぎ支援センター」及び「事業承継ネットワーク事務局」を「事業承継・引継ぎ支援センター」に統合し、事業承継をワンストップで支援
- 同センターにおいて、令和4年度に事業承継診断を2035件、事業承継相談を315件実施
- 同センターにエリアコーディネーターを配置し、事業承継ネットワークと連携しながら事業承継ニーズの掘り起こしを実施
- 事業承継の機運を醸成するためのセミナーを開催するとともに、事業承継にかかる費用を支援する補助金を創設。あわせて事業承継を支援する制度融資や、税制を周知

(3) 創業・ベンチャー支援

成長戦略の柱の一つに「スタートアップ支援」を掲げ、チャレンジ人材が県内でのびのびと活動できる環境整備のため以下を実施

- とやまスタートアップ「T-Startup」**
 - ・スタートアップを継続的に生み出すスタートアップエコシステムの形成を図る
 - ・ロールモデル創出のため案件発掘や集中的な伴走支援、機運醸成等を実施
→大きな成長が期待される県内企業をT-Startup企業として選定し6か月間の集中支援を実施（R4：6社選定、R5：6社選定（継続の3社含む））
 - ・T-Startupサポーター 60団体（R6.2末時点）
- 創業支援センター及び創業・移住促進住宅「SCOP TOYAMA」**
 - ・県職員住宅を改修し、R4.10.28オープン。
全国でも先駆的な職住一体の施設
 - ・起業家や移住者を呼び込む「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点を目指す
→セミナーやワークショップ、創業相談を随時開催。
 - ・R5 地域交流イベントを開催(8月、11月)



(4) 県と（公財）富山県新世紀産業機構が一体となった総合的支援

- とやま県産学官コーディネータ連絡会の開催**
企業ニーズと大学や研究機関の持つ研究成果のコーディネート活動を行っている
コーディネータ等の連携を強化
【機関】 富山大学、富山県立大学、富山高等専門学校、県産業技術研究開発センター、
県新世紀産業機構、富山市新産業支援センターなど
- よろず支援・専門家派遣**
 - ・よろず相談件数 21,628件（R1～R4累計）
 - ・専門家派遣件数 1,130件（同上）
- 中小企業チャレンジファンドによる支援**
 - ・ものづくり研究開発 38件（R1～R4累計）
 - ・販路開拓 73件（同上）